



ほけんだより 2月号



令和5年2月25日
社会福祉法人国立保育会
宮前おおぞら保育園
看護師

気温が低く乾燥した日が続いています。暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、2月にかけて最も寒くなると言われています。感染症も続いていますので、手洗い・うがいをしっかり行い、予防に努めましょう。



嘔吐・下痢の処理方法

嘔吐物（おうとぶつ）は、二次感染を防ぐために速やかな処理が必要です。まずは窓を開けて換気を行い、ゴム手袋やマスクを着用し嘔吐物に直接触れないようにしましょう。



用意する物

- ・使い捨て手袋
- ・使い捨てマスク
- ・バケツ
- ・雑巾
- ・ビニール袋
- ※消毒液（塩素系漂白剤など）または熱湯
- ・嘔吐処理後、着替えをする

手順

- ①手袋をして捨ててもよい布や紙で拭き取ります。
- ②拭き取った物はビニール袋へ入れて、外へ漏れ出ないようにして捨てます。
- ③汚れた床は、消毒液（漂白剤等）などを薄めて拭きます。
- ④処理の前後は十分な換気を行いましょう。

嘔吐物・下痢の付いた衣類の洗い方

消毒液を規定量で薄め、衣類を10～20分程または熱湯に浸した後、洗濯をします。他の衣類とは一緒に洗わないようにしましょう。

下痢も同様、便器など周囲も塩素系の使用をお願いします。



★嘔吐をしたとき・・・

嘔吐が続くと栄養が不足しているのではないかと思います。つい食事を摂るのを優先しがちになります。食事をする事で胃腸が活発に働き逆効果になります。嘔吐の状況を確認しながら、少量ずつの水分をこまめに摂取することをおすすめします。水分摂取ができないと脱水になりますので、医師に相談してください。嘔吐が落ちついてきたら、すぐ普通食にもどるのではなく、胃腸に負担のないスープやおかゆから始めていくようにしましょう。

★下痢をしたときは・・・

自宅で便の状態を確認し色、固さ、血液が混じっていないかなどをチェックまたは写真を撮るなどし、受診するときに医師に説明できるようにすると良いです。子どもは胃腸が未熟なので、よく下痢になります。感染性の下痢は、周囲に広げないため、迅速に処理をしましょう。



★体調不良時の登園のめやす（受診後）

嘔吐：嘔吐が落ち着き、通常の食事ができる。

下痢：普通便にもどり、通常の食事ができる。

咳：咳で嘔吐していない、咳で夜中起きない又は熟睡できている。

発疹：感染性がなく、治療している。

眼：感染性がなく、治療している。

※その他、ご不明な場合はご相談ください。

また、病児のご利用もご検討ください。

★2月の予定

7日（火） 0歳児 身体測定

8日（水） 1歳児 身体測定 ・ 0歳児健診

9日（木） 2歳児 身体測定

10日（金） 3・4・5歳児 身体測定

★感染症（12/25～1/24）

*感染性胃腸炎（0歳児：1名 2歳児：2名）

昨年末、園では胃腸炎が増加しました。加えて、都内ではコロナウィルス感染者、インフルエンザ感染者も増えている状況です。基本となる生活習慣をご家庭で再確認していただき、引き続き予防に努めていただくようご協力をお願いします。

